

# さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.1050  
2025.9.28

日本共産党さいたま市議会議員団

TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165

ご意見・ご要望はこちらにお寄せください



発行

松村 としお  
久保 みき  
金子 あきよ

とば めぐみ  
たけこし 連  
池田 めぐみ

## 9月議会・議案外質問 (9月16日)

### 子ども文教 多文化共生へ 日本語教育の充実求める



松村としお市議は外国にルーツを持つ子どもが言葉の壁でつまづくことなく生きる力を身に付けるため日本語教育の強化を求めました。松村市議が市内で日本語指導が必要な子どもの推移を確認したところ、5年間で約2倍に増え、昨年度は524人いることが明らかになりました。会計年度任用職員の日本語指導員が1日2時間教えていますが、松村市議は担任との連携、クラスでなじめるよう配慮することなどを求めました。

業者と相談していく」との考えを示しました。

また松村市議は市長が6月議会で「子どもの権利条例」の制定を表明したことを受けて、実効性ある条例にするために全庁的な議論をすること、権利侵害から子どもを守る第三者委員会の設置を求め、いずれも前向きな答弁がありました。

公民館のエレベーター設置の推進も求めました。今年度は与野本町公民館で設置が予定されており、今後は南筒公民館(浦和区)、三室公民館(緑区)で設置することが明らかになっています。松村市議の質問に、南筒公民館は2027年度以後に実施設計、三室公民館は2026年度実施設計し2028年度以後工事の見通しが示されました。他の設置可能な公民館についても進めるよう求めました。また熱中症対策の一環として市内公共施設に設置されている「マイボトル給水スポット」が公民館では一部に限られているため、市民からの増設の要望を紹介し、設置場所の拡大を求めました。市は「設置事業者から無償で提供されているが、拡大について事

### 総合政策

### 議会での対応は 中立・公平が当然

金子あきよ市議は「しんぶん赤旗」の報道を引用し、静岡県函南(かなみ)町で元幹部職員が現役幹部対象の議会対応に関する勉強会で、不適切な資料を作成・使用していた問題を紹介しながら、議会と執行部の関係について質問しました。

この資料には「当初予算に反対する共産党議

### 保健福祉

### 手話通訳者と要約筆記者の 処遇改善を

とばめぐみ市議は、手話通訳者と要約筆記者の処遇改善を求めました。

手話通訳者と要約筆記者は、難聴者・中途失聴者・聴覚障害者等の情報保障の担い手として、重要な役割を果たしていま

す。本市の登録手話通訳者は54人、要約筆記者は筆記者8人、パソコン9人。聴覚障害者等の要請にはほぼ応えられているというのですが、通訳者・筆記者ともに平均年齢は50歳を超えており、キャリアは10年以上の方がほとんどで、今後もこの体制が維持できるか大変懸念されます。後継者を育てることが重要であるため、とば市議は養成講座の拡充と、合併以



員への答弁は粗雑で構わない」「議員の所属党派や会派によって対応や答弁内容を忖度するのは当たり前」といった驚くべき記載がされています。

金子市議は「この資料からは、議員の質問は市民の声を反映したものだ、という認識がまったく感じられない。本市の職員はその認識をどのように形成し共有しているか」と、本市の認識を問いました。総務部長は「地方公務員は全体の奉仕者であり、中立公平に職務に当たらなけ



来20年以上据え置きとなっている報酬の引き上げを求めました。また、区役所に「設置通訳者」がいることや「筆談します」等の掲示を入り口から一目でわかるように改めることも求めました。市は改善を約束しました。

そのほかとば市議は孤立死・孤独死の対策として「緊急通報機器」や「慢性疾患」の条件の拡充、また精神疾患患者の急増に伴い、さいたま市立病院の精神科が果たす役割等を質しました。市立病院は「市の基幹病院として診療体制の強化や診療内容の充実を目指しつつも、精神科はまったくの医師不足で日々を回すことで精一杯」であることを率直に答弁。全体として深刻な経営難と医師不足・看護師不足が浮き彫りになりました。とば市議は「保健衛生、医療、福祉はもっと予算が必要。ひとつひとつ実現するまで求めていく」と語りました。

要約筆記者とは…聴覚障害者のために、話された内容をリアルタイムで要約し、文字に変換する専門家

設置通訳者とは…主に聴覚障害者のために、公共の場や窓口で待機し、手話や筆談を通じてコミュニケーションを支援する通訳者

ればならないという基本的な考えを常に意識しており、議員には会派を問わず中立公平に対応している」と回答し、さらに「二元代表制のもと、市議会議員は市民から信託を受けた市民の代表であり、議会と執行部は『車の両輪』に例えられるように、会派や主義・主張にかかわらず互いを尊重し、連携・協力して市政運営にあたる必要があると認識している」と重ねて述べました。

金子市議は、さいたま市民の声が正しく反映された政策決定のためにも、議会と執行部が適切な緊張感の中で十分な議論をおこなえるよう、今後もとりにくむことを求めました。

## まちづくり

### 西区西大宮の公園整備 一部開放をいそげ

久保みき市議は、西区西大宮4丁目地内の近隣公園について、高齢社会にむけて高齢者や障がい者が利用できる交通安全施設についてとりあげました。

西大宮4丁目の近隣公園は、20年以上前に計画が出され、多くの住民は、公園ができることを期待して引っ越してこられました。一刻も早く公園を整備することが、市民のために仕事をする市の責務です。さまざまな課題があり、



公園整備まであと約10年かかるとされていることから、久保市議は「仮整備や暫定利用など、すぐに公園を整備する方法はあると思う。一部でいいので、公園を整備して市民が利用できるように

すべき」と求めたところ、市は「暫定開放の検討をおこなう」と答弁しました。

続いて、高齢社会にむけて高齢者や障がい者が利用できる交通安全施設として、新大宮バイパスの歩道橋についてとりあげました。階段を使わなければならない歩道橋は、車椅子の方は利用できないので、バリアフリーに逆行する構

造物です。これから高齢社会になることから、歩道橋を使えない人は増えていきます。しかし新大宮バイパスは、横断のほとんどを歩道橋に頼っています。とくに桜区桜田地域は、バイパスを横断しないと郵便局やスーパーなどに行け

ません。久保市議は、押しボタン信号と横断歩道の必要性を質し、設置要望を国におこなうよう強く求めました。市も「国道事務所および交通管理者へ、地元の要望を伝えたい」と答弁しました。

## 市民生活

### 市のごみ出しルールの周知徹底を

たけこし連市議は、さいたま市のごみ分別アプリの多言語対応についてとりあげました。

たけこし市議は「ごみ出しの問題で外国人がルールを守らない、との声があるが、各国でルール



や文化が異なることを前提に、さいたま市に住む外国人にもごみ出しのルールをきちんと伝え、周知することが必要だ。そのためには行政による関与やサポートが必要不可欠である」と指摘。多言語の対応強化を求めました。そして、市が運用している「ごみ分別アプリ」は6カ

国語対応だが、外国人住民への積極的な広報が必要だとして対策を求めました。担当課は「転入時に、外国語版の家庭ごみの出し方マニュアルを配布している。ごみ分別アプリの外国語版チラシを各区の情報公開コーナーで随時配布している。今後もさまざまな手法を通じてアプローチを広げていく」と答弁しました。

たけこし市議は「外国人コミュニティへの積極的な広報、国際交流センターとの連携強化、外国人住民が多く利用するSNSでの告知などが必要」と提案。市は、「国際交流センターにごみ出しマニュアルの冊子を置いてもらったり、SNSにおける英語での発信などアウトリーチのさらなる拡大を検討していきたい」と答えました。質問後、たけこし市議は「多様な文化背景を持つ住民が共に暮らしやすいまちづくりのため、より積極的な情報発信と支援体制の構築が必要だ」と話しました。ほかに、救急医療体制についても質問しました。

## 保健福祉

### 敬老お祝い金事業を 縮小しないで

池田めぐみ市議は、敬老お祝い金事業についてとりあげました。

現状を確認したところ、さいたま市の敬老お祝い金は2012年に半分に減額され、現在は、75歳で5000円、その後、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳と5年ごとに1万円が支給されています。市が社会福祉審議会に諮問した「高齢者福祉施策のあり方検討」のなかで、敬老お祝い金支給事業が見直しの対象事業にはっていますが、池田市議は「近隣市で100歳までに受け取れるお祝い金は、蕨市で26万5000円、戸田市で19万円のところ、さいたま市は5万5000円のみ」と指摘し、年を重ねることを希望にするためにも、これ以上減らさないよう要望しました。また、「パパママ応援ギフ

ト」をデジタル地域通貨で受け取る場合、現金で受け取るよりも5000円上乗せする制度がありますが、敬老お祝い金は対象が高齢者で、スマホに不慣れな方も多いことから、さいコインやたまポンといったデジタル地域通貨での受け取りに移行しないよう、強く要望しました。



次に池田市議は、介護保険の負担割合の判定基準について、「一昨年より年金が3万円ほど増えたことで、所得が160万円の壁をこえ、介護負担が1割から2割にあがってしまった」という市民からの相談について紹介し、認識を確認したところ、担当課も困っている市民が一定数いることは把握していました。「所得判定基準が物価高騰や年金額引き上げに見合っていない」と指摘すると、国の基準であるため、改善は国に要望する、との答弁でした。

## あなたの身近な市議会議員です



緑区  
松村としお



桜区  
久保みき



南区  
金子あきよ



見沼区  
とばめぐみ



中央区  
たけこし連



浦和区  
池田めぐみ